

不登校対策支援プラン

更新日 4 月 1 日

プランの策定にあたって

県内において不登校児童生徒数は増加傾向にある中、不登校対策では、対象や課題性に基づいた取組が求められています。全ての児童生徒を対象とした取組や不登校の予兆が見られる児童生徒への支援、欠席が継続している児童生徒への支援を組織的かつ計画的に行うことが必要です。

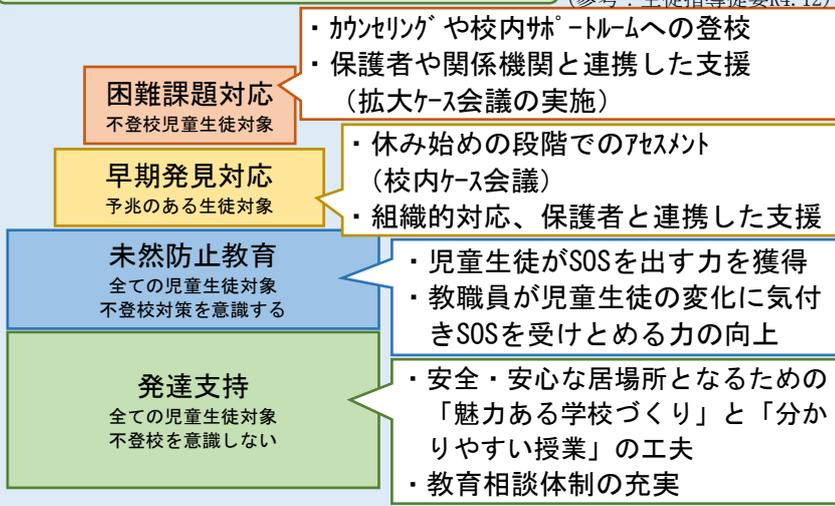
本校では、実態を把握し、以下の目標や取組を設定し、教職員が一丸となり対策を進めることで、誰一人取り残すことのない、持続可能な不登校対策や支援を行います。

不登校対策の目標

- 1 不登校の予兆を早期に捉える。
- 2 不登校対策チームをはじめ全職員で組織的に対応する。
- 3 誠意をもって（対象生徒・家族の立場に立って）対応する。

不登校対策における重層的支援構造

(参考：生徒指導提要R4.12)



不登校対策チーム構成

管理職、不登校対策担当、生活指導担当、特別支援教育担当、学年代表、養護教諭、不登校対策支援員、SC、SSW、該当担任

不登校児童生徒支援関係機関等

市教育委員会学校サポートチーム（学校教育課指導主事、市教育支援センター指導員、青少年育成センター指導員・公認心理師・SSW）、市こども家庭センター、学校評議員会、姫路家庭児童相談所、しそ警察、民生児童委員、市顧問弁護士、学校医、県教育委員会学校支援チーム、県立但馬やまびこの郷、県立神出学園等

4つの層での取組等

発達支持

- ・お互いに違いを認め、尊重し合う学級集団づくり。
- ・めあてとふりかえりの明示、ペア学習・小集団学習の活用、ICTの活用による分かる授業づくり。

未然防止教育

- ・教員と生徒がともに学ぶSST研修の実施。
- ・Q-U調査の実施とフィードバックによる生徒理解の促進。

早期発見対応

- ・定例（月に1回以上）の不登校対策校内委員会の開催。

困難課題対応

- ・別室登校や個別指導に対するきめ細やかな環境整備。
- ・市教育委員会学校サポートチームとの連携によるケース会議の実施。